

第67号
令和3年3月

地区広報

かいぞう



新しい生活様式

かいぞう地区の様子は…

新型コロナウイルスの流行によって、私たちはマスク・手洗い・うがい・三密を避ける等、新しい生活様式を心がけるようになりました。

毎年度、地区の行事は海蔵川桜まつりで賑やかにスタートしますが、令和二年度は満開の桜の下にいつもある提灯やのぼりが無いという新しい風景を見ることがになりました。そんな中でも堤防を行き交う人たちの、いつもよりゆっくりと歩く姿がとても印象に残っています。

昨年四月には最初の緊急事態宣言が発出され、子どもたちは休校となり、会社によってはテレワークに。マスクが品薄になっていた頃は、毎朝ドラッグストアの前に長蛇の列ができていました。医療や介護に従事されている方々や関係者の方々は、感染対策を行いながら今も緊張感を持って対応しています。

人々の生活スタイルが変わっても、季節の移ろいは変わりません。季節ごとに花は咲き、収穫を迎えます。そんな何気ない、かいぞう地区の様子を広報部のメンバーでカメラに収めました。

普段は車で通り過ぎる道も、広報部のメンバーと一緒に歩いてみたことで、あらためて発見する景色がたくさんありました。遠出をするのも楽しいですが、地区内を家族で散策してみるのも、きっと楽しいと思います。

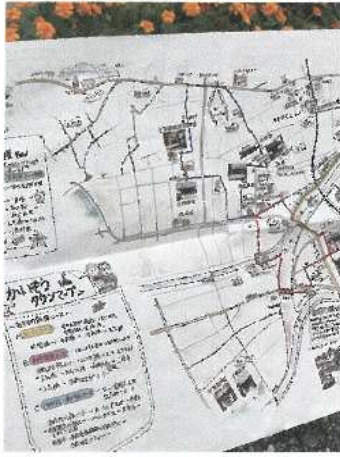
写真の風景は、すべてかいぞう地区で撮影したものです。あなたは、どこかわかりますか？

海蔵地区人口 総数13,654人 男 6,815人 女 6,839人 世帯数 6,100戸 (令和3年2月1日現在)

編集・発行／海蔵地区まちづくり協議会・広報部 印刷／水九印刷株式会社

「かいぞうタウンマップ」を片手に、

広報部のメンバーで歩いてみました!



令和2年10月、広報部のメンバーで3つのコースに分かれて「かいぞうタウンマップ」片手に海蔵地区内を歩いてみました。

※写真の一部は、11月に再取材しています。

この「かいぞうタウンマップ」は、平成25年3月に広報部が発行したもので、一部内容は現在と変わっているところがあるものの「～おすすめ散策コース～」は、十分活用できました。

QRコードを読み取ると、「海蔵地区のホームページ」に掲載されている「かいぞうタウンマップ」を見ることができます。

てくてくコース

【海蔵地区市民センター→末広橋→近鉄海蔵川橋梁→堀川菖蒲園→ど根性桜→三ツ谷一里塚跡→新開橋】

海蔵川の堤防に沿って歩くコース。交通量も多くないので、安全に歩くことができます。桜並木の下を歩くので、四季の移ろいを目でも感じることができるコースで、毎日の散歩にもオススメ!



南部探索コース

【海蔵地区市民センター→しらさぎ橋→エノキ・ムクノキの大木→末永橋→あみだ橋→神明社→正福寺】

車で走っていると見えないけれど、歩いたり立ち止まったりすることで、見えてくる景色があります。歩行者が利用するしらさぎ橋には、ある角度になると現れるしらさぎが。渡りきって左に曲がれば、エノキ・ムクノキが存在感を放っています。爽やかな風が頬をなで、昔の人も同じこの道を歩き、ふと立ち止まり、この木を見上げていたことでしょうか。末永橋の周辺はすすき野原。その先のあみだ橋は、かつて通学路だったそうなのですが、そこに今も橋があることを知っている人がどれほどいるのかな?



いぬなし・あいなしコース

【海蔵地区市民センター→あいなし自生地→浄覚寺→みくろあくらがわじんじや 御厨飽良河神社→いぬなし自生地→真楽寺→唯福寺→海蔵神社】

国指定天然記念物と神社仏閣をめぐる、盛りだくさんの健脚コースです。中学生の頃は、よく分からず「いぬなし自生地」の落ち葉拾いや草抜きをしていましたが、梨の原始的な種という目で見てみると確かに小さい梨のような実がなっていました。いぬなし・あいなしの花と実を見比べて見てみたいなあと思いました。車では入れない迷路のような細い道もまだまだたくさんあって、昔は側溝にふたがなく、もっと狭かったこと等も知ることができて、近所のお散歩も結構楽しかったです。また歩いてみよっと!



～おばちゃま探検隊、今日も行く!～

おばちゃまからの挑戦状!



おばちゃまA (以下A) :

なあなあ。突然やけど、神社の
数え方って知ってる?

おばちゃまB (以下B) :

本当に突然やなあ! そんなん
知つとるよ、一社(いつ
しゃ)二社(にしゃ)って数
えるんやろ?

おばちゃまC (以下C) :

じゃあ、海蔵地区には神社が
何社あるか知ってる?

B : それは…五社やなあ!

C : 大正解!!

B : そういえばこの間、散歩して
いて末永にある神明社の
「力石」が気になって。持ち
上げられるかなーと思って、
持ってみたけど、全然無理
やったわ。



これが「力石」

A : それは、さすがに無理やろなあ。
80キロくらいあるらしいよ。

B : そうなんや。それから、神明社のお賽
銭箱の近くに「歯ブラシ回収箱」が置
いてあるのは知ってる?

C : へえ! 知らなかったわ。回収って、使
い終わった歯ブラシを入れるの?

B : そうみたい。「歯の神様末永神明社」って看板もあったよ。これ
からも美味しくご飯が食べられるように、今度歯ブラシを奉納し
てこようと思って。



C : それはいいね! 私も家族みんなの歯ブラシ奉納しに行こう!

A : それから、神社には口を開いている「阿形(あぎょう)」と閉じ
ている「吽形(うんぎょう)」が対になってる「狛犬」が置いて
あるよね。散歩していて、最近気がついたんやけど、海蔵地区内
の「狛犬」って、みんな個性的なんだよね!

B : 面白いね! ぱつと見て、すぐに全部わかる人いるかな?

【おばちゃまからの挑戦状!】

神社と狛犬の正しい組み合わせを選んで、線を引いてください。

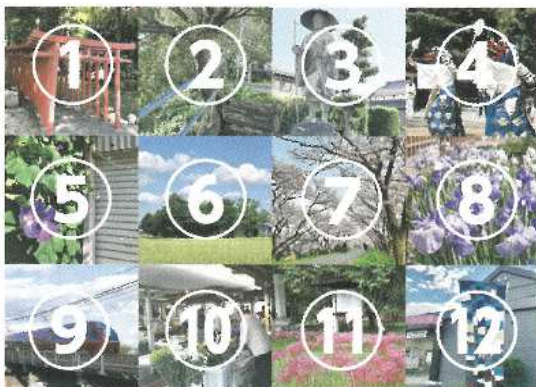
海蔵神社

多度神社

神明社

みくりあくらがわじんじや
御厨飽良河神社

野田神社



表紙の答え…あなたは、いくつわかりましたか?

- ①海蔵神社境内の稻荷社鳥居 ②海蔵川の「ど根性桜」 ③浄
覚寺の親鸞聖人御像 ④およそ60年ぶりに海蔵神社で行われた
伊勢大神楽 ⑤【超難問!】軒先に咲く朝顔(西阿倉川) ⑥稲穂
と野田神社の鎮守の森 ⑦【激レア!】提灯やのぼりの無い海蔵川
で咲く満開の桜(三ツ谷町) ⑧堀川菖蒲園の菖蒲 ⑨近鉄海蔵
川橋梁を走行する特急ひのとり ⑩阿倉川の四九の市 ⑪いぬな
し自生地に咲く彼岸花 ⑫近鉄阿倉川駅前の萬古焼モニュメント

海蔵 この一年

新型コロナウイルスの流行で、多くの事業が中止となりました。



4月上旬 海蔵川堤防

平成元年以来の桜まつりを中止し、ライトアップや写生大会などが無く、出店もありませんでしたが、大勢の方が花見に来られました。仮設トイレや必要な看板も設置しました。

【海蔵川桜まつり実行委員会】



6月21日 救命ブイ点検

海蔵川は、2月下旬から8月末頃まで農業への塩害防止のため、下流の海蔵川河口堰が閉められ、水位が上がります。その期間の水難防止の為に設置している救命ブイの点検を行いました。

【青少年育成協議会】



8月8日 星空観察会

海蔵地区市民センターに星空観測車きらら号が来て午後7時から行いました。また、星(☆)型の折り紙も教えてもらいました。50人余の親子が参加しました。

【かいぞう文庫運営委員会】



9月13日 サプライズ花火

市内のスポンサーにより、西阿倉川地内の稲刈り後の田んぼで、70発余が打ち上げられました。



9月21日 敬老の日 お祝い品(マスク2枚)のお届け

70歳以上(令和2年7月1日現在)の方2,114人にお届けしました。

【社会福祉協議会・連合自治会】



10月31日 街かど花いっぱい運動

希望する自治会をはじめ16の団体等にパンジー苗と肥料を配布しました。

【社会福祉協議会 環境部】



11月8日・3月7日 海蔵川・三滝川堤防清掃

自治会や婦人会、青少年育成協議会等の皆さんの協力を得て実施しました。桜の枝の剪定も行いました。

【社会福祉協議会 環境部】



12月5日 ニュースポーツ大会

海蔵小学校の多目的室で、30人余が参加してスカットボールや輪投げ、ペタンクを楽しみました。

【連合若生会】



海蔵小学校下校児童 見守り活動

低学年児童の見守りを基本に、3コースを日替わりで巡回し、横断歩道での誘導も行いました。

【セフティネット協議会】

堀川菖蒲園管理活動の紹介

堀川菖蒲園花菖蒲育成会

菖蒲園の管理活動は、1年を通じて行っています。一番苦勞するのが、除草です。雑草は放置するとすぐに繁茂して来るので、2月から11月まで毎月行っています。そして、時期に合わせて株分け・灌水・施肥・耕耘土づくり・植え付け・害虫防除などを行います。

本年度は新型コロナウイルス流行の影響がありましたが、同様の活動を行いました。



苗植付け作業



開花に向けての除草作業



施肥作業



開花 (6月上旬～中旬)



苗植付けの準備作業



開花時期終了後の除草作業



植替え区域の耕耘整地作業



花が好きで、仲間と楽しく作業できる方、お気軽にご参加いただき、一緒にきれいな花菖蒲を咲かせましょう。

ご参加いただける方は、海蔵地区市民センター地域マネージャー (☎331-3284) へご連絡ください。よろしくお願ひします。

株の枯葉切り取り作業



子どもたちの素敵な空間 海蔵小の運動場整備&学童新築工事完了

安全で楽しく遊べる素敵な運動場が 9月に完成しました。

そこで、校長先生&教頭先生にインタビューしました。

Q：今回整備した箇所はどこで、どんなところがかわりましたか？

A：運動場を整地し、新しいスプリンクラーや野球のバックネットを設置しました。本当に水はけがよいので助かります。また、運動場に黄・赤・青・白のポイントブロックを埋め込む工夫をしたので、トラックラインや競技ラインがひきやすくなりました。新しいスプリンクラーは、散水性能がよく、砂埃を防ぎ、熱中症対策にも役割を果たしてくれています。野球のバックネットは、ネットの角度やグリーンボードの素材など安全性の高いものです。



イラスト 海蔵小 川北梨瑚



Q：楽しそうな遊具は、どのような考えで選ばれたのですか？

A：遊びの中で、体力、バランス力、腕力、握力をつけてほしいと願い、ニュースポーツ的な要素のあるボルダリング・ウォーククライミング（複合遊具）を設置しました。また、チャレンジすることで、体力面だけでなく、心理的な成長も促したいと思っています。ブランコは気持ちを和らげる効果があると聞き、選びました。カラフルな滑り台は安全な高さで広い面積を保ち、とても人気があります。ボルダリングに挑戦した低学年の児童は「難しいけど楽しい!」、照れながらブランコにのっていた高学年の児童は「気持ちが落ち着くよね」と話しています。



海蔵第1学童保育所 新学童舎完成!

～新学童舎と子どもたちの様子を見学して～

10月11日、海蔵第1学童保育所完成式と内覧会が行われました。新学童舎と子どもたちの様子を見学させていただきました。35年程前に移転した1階建てのプレハブ学童舎を解体し、平成27年度に新築した第2学童保育所の学童舎に増築するかたちで、木造2階建てで新築工事を行い、面積は、84㎡広がったそうです。

外壁は萬古焼を意識した落ち着いた色で、趣があり温かみのある建物でした。140名以上の児童を預かっている中で、22名のスタッフの皆さんがきめ細やかな対応をしておみえでした。宿題や遊び、レクリエーション等、家庭に代わる生活の場として、安心して安全な居場所を作っていることに感動しました。

1階は、勉強の場、食事の場、2階は遊びや読書、趣味の場と部屋を分けていて、子どもたちが楽しそうに過ごしている姿を見て、こちらも自然に笑顔になりました。木のぬくもりを感じ、子どもたちは、のびのび育ってくれることと思います。

(内覧会に参加した方の感想)

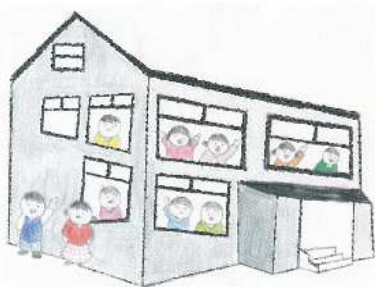


イラスト 海蔵小 川北梨瑚



海蔵小学校運動会 3年ぶりに自校で開催

南校舎の新築工事のため、平成30年度と令和元年度の運動会は、四日市ドームで行なわれました。校舎は令和元年12月に竣工し、その後運動場に設置されていた仮設校舎が撤去されて、土の入れ替え整備が行なわれ、今年度は新しくなった運動場で3年ぶりに9月26日に開催されました。

新型コロナ禍のため、午前中の開催となりました。保護者も校門で検温と手の消毒をしてもらって入場し、例年の町別の応援席もありませんでしたが、児童は元気いっぱい走り、演技し、保護者も精一杯応援していました。



山手中学校体育祭 保護者観覧なし ホームページで録画配信

今年は新型コロナウイルス対策のため半日に縮小、また保護者の観覧はなしとなるなど制約もありましたが、9月17日に開催することができました。

種目も、恒例の「学級対抗リレー」「全員リレー」の他、お互いの距離を保てる競技「ミックスボールキックリレー」「ワンツースリッパ（スリッパ飛ばし）」と工夫して構成されていました。

また密を避けるため保護者の観覧をなくした代わりに、体育祭を録画したダイジェスト版動画を、中学校ホームページで一定期間、視聴できるようにしていました。

例年とは違う体育祭となりましたが、今年も全力で取り組み、応援しあい、楽しんでいる様子が動画から伝わってきました。



中学校給食「食缶方式」導入へ 山手中にエレベーター2台設置

令和5年度から始まる「食缶方式」給食に向けて、山手中学校には2台の給食用エレベーターが設置されました。

「食缶方式」とは、食缶でクラス分をまとめて教室まで運び教室で配膳する方式です。

「食缶方式」では献立に合わせて温かいものを温かく、冷たいものを冷たく提供できるため、食材の良さ、美味しさを実感でき、子どもの食への興味・関心を高めることにつながると期待されています。



新しくデジタル携帯型無線機を導入しました 海蔵地区防災会

避難や被災状況などの様々な情報収集とそれらの状況に応じた指示の伝達等、災害対応のために、これまでアナログ携帯型無線機を、地域に配備してきました。

しかし、アナログ無線が令和4年11月30日で使用できなくなることから、新しくデジタル携帯型無線機を、市の地区防災組織高額資機材等購入補助金を受けて購入し、基地局としての海蔵地区市民センターと20の自治会に設置されている自主防災隊に配備しました。

新しい無線機で、より広い通信エリアをカバーでき、災害時の組織連携を高めることができるようになりました（通信距離の目安：市街地は約1km、郊外は約1.5km、見通しの良いエリアは約4kmが可能）。



海蔵の懐かしい写真

(東阿倉川一区 蛭川保雄さん)

左の上の写真の中央に立っているのは旧四日市受信所の無線塔、その右横にあるのは局舎の上部で、雑木林の中に埋もれるように立っていました。同受信所は昭和2年に国際通信受信所として竣工し、「海蔵受信所」と称しましたが、後に「四日市受信所」と改称されました。撮影したのは、未憎悪の被害をもたらしたあの「伊勢湾台風」が来襲した昭和34年の秋で、2基の無線塔がなぎ倒され、残った1基が写っています。昭和36年12月1日に役目を終え、後に無線塔や局舎は取り壊されました。跡地は電電公社（現在のNTT）の所有地で、高層社宅が建ち、後に一部が分譲されて住宅が建ちました。その後、社宅は取り壊され、現在は新しい住宅地「ウェリスパーク阿倉川」となり、従前の分譲住宅と合わせて松カ丘となっています。

写真を撮った頃は、山手中学校の西側には乳牛の牧場と牧舎があり、その先は雑木林と畑が垂坂山まで続いていました。校舎の北側にあった垂坂山までの道は、幅2~3mの小道で（現在は、山手通りとなっています）、民家もまばらでした。その頃の遊び場といえば海蔵川や垂坂山で、垂坂山には野うさぎがいたし、松茸やシメジが採れました。

左の下の写真は、同じ頃に撮った垂坂山山頂です。山腹には防空壕、頂上には「大正天皇御駐蹕記念碑※」（中央、松の後）がありましたが、それらはもう無くなっています。

山の東の現在の緑丘町の地に昭和石油の社宅が建設され始めたのもその頃でした。現在は、その社宅もなくなり、分譲宅地となっています。

当時、私は山手中学校の2年生で、「郷愁」の感というものはありませんでしたが、何か生まれ育った地元の風景を写真に収めておきたかったのだと思います。※大正天皇が当時東宮であった明治45年4月に岡山（垂坂山）へ演習の統監に登られ、これを記念して大正4年に建てられました。（「海蔵小誌」より引用しました）

海蔵受信所の詳細は、海蔵地区ホームページのトップページ左欄の「遺跡・史跡・道標・碑」から、松カ丘川森一成さん監修の資料をご覧ください。

